

RamSan-440
 Texas Memory Systems, Inc.
Enterprise-DDR-RAM Storage

600,000IOPS

RamSan-440は、毎秒 600,000 I/O (通常のハードディスクドライブ3,000台分のI/O性能) を処理できる、世界最速の性能と経済性を備えた超高速半導体ディスク装置です。大量のI/Oを処理できるため、オンライン処理データベース、バッチプロセス、統合業務システム、データウェアハウス、シミュレーション解析、科学技術計算といったアプリケーションのパフォーマンスを改善できます。

信頼性の高い記憶装置

信頼性の問題は、データ記憶装置にとって欠くことのできない重要な課題です。一次記憶であるDRAMには、ECC回路及びマルチビットエラー訂正が可能なChipkillテクノロジーを使用しています。さらに複数のメモリボードはRAID保護され、高いデータ保全性と可用性を実現します。二次記憶には独自開発した高速フラッシュ・モジュールを使用することで、512GBのデータバックアップ/リストアにかかる時間はわずか6分、さらに特許技術であるIO2(Instant-On Input Output)の実装により、システムメンテナンスや停電時のダウンタイムを最小限に抑えることができます。内部バッテリーにより停電時でも大切なデータを失うことはありません。

遅延時間14μ秒以内

ディスクベースの記憶装置では、ヘッドのシークやドライブの回転といった機械的な動作を伴うため5-10ms単位の遅延が発生します。これはディスクドライブを複数並列化しても解決されません。RamSanはデータをメモリ上に格納しアクセスするため、あらゆるアクセスパターンにおいて14μ秒以内でのアクセスタイムを保証します。

2つのバックアップモード

RamSanにはLUNをバックアップ用のディスクにバックアップするためにデータシンク、アクティブバックアップ(オプション)の2つのモードが用意されています。データシンクはメモリ上のデータをシャットダウン時に内蔵フラッシュディスクにセーブします。そして、アクティブバックアップでは、LUNのデータを適時ディスクにセーブしますので、パフォーマンスとデータ保全を両立させます。またシャットダウンや停電後に使用再開する際、データへのアクセスが可能になる時間を大幅に短縮することができる『Instant-On Input Output』技術を実装しています。

ファイバーチャネル・InfiniBand(予定)接続

RamSanは2つのファイバーチャネルポート、またはInfiniBandポートを持つインターフェイスカードにより、速度とプロトコルに対する柔軟性を実現しています。RamSanは、ファイバーチャネルのSANに接続するだけで、OSから通常のディスク・ドライブとして認識され、他のストレージ装置と同様にアクセスできるようになります。

Specifications

IO 処理性 (IOPS)	600,000
メモリ容量	256 / 512GB
使用メモリ	DDR SDRAM
最大外部スループット (帯域)	4.5GB/ 秒
Fibre Channel インタフェースカード	FC-77 (4Gbps)
Fibre Channel ホストポート	2 / 4 / 6 / 8 ポート
遅延時間	14 μ秒以下
バックアップディスク	5 台 (RAID3)
電源装置	2 台 (Hot Swap)
バッテリー	3 台 (冗長性)
サイズ (H x D cm)	18 (4U) x 60 cm
消費電力	650W
重量 (最大)	40kg

お問い合わせ：